

5月の短歌

渡邊麗加

高校生になった少年達。
自分のことに夢中で、もう私の言うことなど耳に入らない。
そっだ、私もそうして大人になったのだ…
たくさんの失敗をくり返して…
見とげられない彼らの未来を案じながら
それでも彼らの未来を信じながら
私は心から願うのだ

「また会おう 未世で会おう その時は
少年も大人になりているらん」
どうか立派な大人になっていてくれんことを…

① 仏壇に深く手合わす少年を
ふすまの暗き隙間より見つ

② 数式は星座のごとく美しく
また恋をせぬ少年の言う

③ 宇宙闇に半分だけを浮かばせて
青き地球よ 少年眠る
—「青き地球」と「眠る少年」、この初々しい二つの言葉が、互いに
響き合い清新な叙情の世界をみせる。

④ また会おう 来世で会おうその時は
少年も大人になりているらん



